



19<sup>th</sup> Asian Athletics Championships in HYOGO・KOBE

## LOC News Release

2011.7.6.

NO.2

### 【LOC ニュースリリース】

#### アジア陸上競技連盟と日本陸上競技連盟が会見

7月6日午後、アジア陸上競技連盟のカウンシル会議が、兵庫県神戸市内のホテルにおいて開催された。終了後、アジア陸連総会（コンGRES）開始までの時間を利用して、アジア陸連副会長のダラーン・アル・ハマド氏（カタール）と、同事務総長のモーリス・ニコラス氏（シンガポール）、日本陸連専務理事・尾縣貢氏が会見を行った。主な内容は下記の通り。

——（アル・ハマド副会長に）明日から開催のアジア選手権に対して期待することを述べていただきたい。また、先ほどカウンシル会議が終了し、総会がこの後行われるが、現段階で公にしてもよい話題があったら、紹介いただきたい。

まず、アジア陸連、カウンシルを代表して、神戸の皆様、日本陸連の皆様、このようなホスピタリティあふれる大会を開いてくださることを深く感謝を申し上げます。

カウンシル会議自体は、コンGRES前段階の会議ということで問題なく終了した。

総会は、これから開催される。これは2年に1回行われており、その2年の間、カウンシルがどんなことをやってきたかを報告する場であるとともに、ルールなどの問題について、IAAFからの変更を受けて話し合っていくものである。

#### ——今回のアジア選手権について

アル・ハマド副会長：今回は、競技会には40カ国、コンGRESは41カ国が参加している。規模としては、とてもいい数なのではないかと思う。選手たちは、いい雰囲気の中で競技ができるのではないかと期待している。

尾縣専務理事：準備は順調に進んでおり、あとは明日の競技開始を待つのみとなっている。この時期なので、天候が問題。ご存じのように、あまり晴れてしまうとスプリ



19<sup>th</sup> Asian Athletics Championships in HYOGO・KOBE

## LOC News Release

ントには不利な風が吹く。今日のような天候—曇りで競技がやれると、かなり高いレベルの記録が出たり、素晴らしい戦いが展開されたりするのではないかと思う。

今回は、かなり高いレベルの選手がエントリーされている。これは過去の大会と異なり、世界選手権の前に開催されているということ、しかも、優勝した選手はA標準突破と同じ扱いとなるということが魅力になっているのではないかと思う。日本の選手は、アジアのチャンピオンになりたいという強い気持ちを持っている。それとともに、テグ世界選手権の出場権を得たいという強い志をもって競技に臨んでいる。

### <質疑応答>

—3月11日に東日本大震災があった日本で、こうした大きな大会を開催する意義について。

アル・ハマド副会長：アジアの同じ一員として、日本の皆様に対して、追悼の意を申し上げたい。今回の災害でたくさんの方が亡くなり、大きな損害があったことを、とても残念に思う。こうした自然の脅威は受け入れなければならないが、強い意志をもって復興に向かう日本に敬意を示したい。我々は、日本のこのような強さを大いに学ぶべきだと思うし、とても尊敬する。

—大会直前にインドでドーピング違反者が複数出たという報道があった。この大会に向けて、何か影響は出ているのか。

アル・ハマド副会長：今回のケースは、選手にとってはとてもシリアスな問題だったと思う。ただし、これはインドであっても他の国であっても、起こってしまったことに対して我々は何もできない。国際陸連の規定に従って事を進めていかなければならない問題だと思っている。

—このアジア選手権では、ドーピングコントロールの規定はあるのか

この大会には、医事の代表が派遣されてきているので、ドーピングに関するすべてについては、国際陸連のルールに従うことになっている。

(2011.7.6.17:50)

LOCメディアチーム